



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3225回例会・2018年12月5日

本日のプログラム

新入会員卓話 「帰山哲雄・自分史」

帰山工業㈱ 代表取締役社長 帰山 哲雄 様

2018～2019年度国際ロータリーテーマ

『インスピレーションになろう』

R. I. 会長 バリー・ラシン

第3224回例会（11月28日）の記録

司会 福田親睦活動委員

ロータリーソング 四つのテスト

会長挨拶 坂井会長

先週の土、日で田尾会員と潮田会員がロータリーの関係で帯広の地に行き、無事に帰って来て下さいました。お疲れ様でした。

11月12日に網走で会長・幹事会があったのですが、その席上次年度に關係する事が2点あり、1つ目は吉田ガバナー年度に分區別会長・幹事会を開催するという事で、この度の帯広でも説明があったと聞いております。これにつきましては次年度の中で詰めていく事になろうかと思っております。2つ目はガバナー補佐活動費徴収についてという事で、皆様から上期・下期に250円ずつ集めて、現在115万円があり、この第5分区にはその一部という事で143,000円が来る事になりました。ただ、それではガバナー補佐の活動費が足りないという事があり、会長・幹事会の中で第5分区として今200円を徴収したいというお話がありました。これにつきましては今後議論をしていくという事がございます。

今日20回目の会長の挨拶をさせて頂くという事で、一年間を振り返って週報等を見ていたのですが、皆様にお話しを聞いて頂いて本当に感謝致しております。例会はロータリーの基本的な活動でありまして、3つの役割があります。会員同士の一層の絆と親睦、ロータリーを理解して頂く、各業界や地域社会を知り活動に役立てる、でございます。例会は年間活動の中で組まれておりまして、プログラム委員会と親睦活動委員会が数ヶ月前から動いております。特にプログラム委員会は、誰をゲストに、どのように話を、という事で非常に気を使っております。親睦活動委員会は、数週間前に当日の司会コンテが關係の方に配信されます。その確認を含めて準備を致します。特に夜間例会や年末家族会等では、何回もの会議を経て準備を進めていきます。そして、この会場は全てSAAが仕切る事となっており、早く出る時もSAAに断って出るという事がございます。また、例会にビジターやゲストが来た時のおもてなしも行います。例会は1時間という限られた時間ではありますが、非常にロータリーにとっては重要でありますし、この例会で親睦、そして我々の奉仕の確認をするという事がございます。また、通常この食事を終えてのスタートが12時50分という事で北見RCは進めています。皆様におかれましては、プログラム委員会、親睦委員会に動いて頂いてこの例会が成り立っているという事をご理解して頂きたいと思っております。

幹事報告 岡村幹事代行

1. RIから「エンド・ポリオ・ナウ」で行った寄付の感謝状が届いております。
2. RI2500地区から、来年の5月31日から国際大会、今回はドイツのハンブルクという事でご案内が届いております。
3. 12月の例会変更について

12月12日(水) 北見RC 忘年家族夜間例会 点鐘：18時30分 会場：ホテル黒部

12月26日(水) 北見RC 特別休会

12月27日(木) 北見西RC 特別休会

12月28日(金) 北見東RC 特別休会

4. 12月5日(水)11時30分より理事・役員会を開催致します。



ニコニコBOX

長屋会長エレクト～この度の弊社創業者 小林清博の葬儀に関しまして、クラブ並びに皆様にお世話になりました。

佐藤会員～第39回NHK杯カーリング大会が11月23日からの連休3日間で常呂のカーリング場で行われました。50チーム、228名が参加。初心者からオリンピックまで、藤澤五月さんも参加されました。無事に大会を終える事が出来ました。ありがとうございました。

福田会員～カーリングポストを北見駅前に設置しました。11月30日10時30分より除幕式を行います。ご当地郵便ポストで全国に北見をPR出来ればと思っております。



プログラム 新入会員卓話

「平成時代のオホーツク経済を顧みる」

㈱東亜リサーチ 代表取締役社長 向井 明廣 様



平成元年と言えば3%の消費税が導入されまして、12月には日経平均株価が過去最高で38,957円を記録した年であり、バブル経済が絶頂期を向えた時期でございます。この年の企業の倒産件数は24件となっておりますが、過去オホーツク管内で倒産件数が一番多かった時期はいつだったか調べてみましたら、昭和57年が管内で一番多かった時期という事でした。この年は第2次オイルショックがあり、国内経済の伸びは鈍化して金融引き締め時代という事もあり、年間の倒産件数が100件を超え、最終的には112件、負債総額で188億円を数えた年です。これ以降は経済的に回復してきたという事では、平成元年で24件は、最盛期からすると1/4以下という倒産件数に落ち着いてきた時期となります。それと、新設法人と解散企業の数を見ますと、平成元年の新設企業が272件、解散した企業が68件という事で、解散した企業の4倍が新しくオホーツク管内で誕生したという形になろうかと思っております。この当時の管内経済規模は拡大して、企業設立のマインドも非常に高かった時代と言えるのではないかと思っております。しかし、平成3年になりますと一気にバブルが崩壊し、平成不況が始まり、失われた30年と言われるような時代の最初の年という事になるかと思っております。平成3年8月に倒産した企業の中で、グループ7社で負債総額212億円の倒産というのがあり、グループ企業の倒産としては過去最高だったのではと思っております。10月には紋別の水産加工業者が140億円で倒産という事があり、この年の倒産件数は27件でそんなに増えてはいなかったのですが、企業の倒産が大型化したという事もあり、私共が統計を取り始めて最大となる401億円という年間の負債総額になった年でありました。そんな中で、バブルが崩壊して管内でもこの影響はかなり甚大だったのではないかと感じ致します。平成8年になりますと、株安が進んでデフレスパイラルが始まり、個人消費の回復が見えない中で実質経済成長率が3.4%と、民間需要を中心に景気の悪い中でも一時的に拡大した時期でもあるのですが、如何せん管内の状況は変わらずという事で、この年の3月には紋別の水産会社が19億円、美幌の建設業者が20億円、9月には遠軽の木材業者が22億円、佐呂間の関連会社の木材業者が21億円という事で、20億円前後の倒産が相次いで発生したという年でもあります。この年は建設業者11件、食品会社8件、水産加工会社8件等が倒産したという事で、この年の負債総額も123億円と比較的高い年でありました。

—その後30年間の状況をお話しされました。—

平成24年以降、若干ではありますが回復傾向にあるのかなという感じは致しますが、人口減少が益々進んでいくと思っております。企業数も減り、人手不足もあって、管内の企業にとっては商機が一段と縮むという予想になるかと思っております。来年から元号が変わりますが、見通しも不透明感が漂っているという部分もありますので、管内の取り巻く環境が一段と厳しくなっていくのではないかと考えておりますが、倒産取材で飛び回るような時代だけは来て欲しくないと思っております。



出席報告 潮田出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計算式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
確定	11/14	59	7	40	4	3	1	44	78.571%
本日	11/28	59	7	44	4	1	-	45	80.357%

【次回12月12日】

「忘年家族夜間例会」

編集後記 今だ根雪になっていませんが寒い日が続いております。(S.W)

2018～2019年度 北見R.C.活動方針

ロータリーの輝きを人へ未来へ

ローターアクトクラブとは
RC提唱の18～30歳迄の青年男女によって構成される世界的青年団体のクラブで、目的は、個々の能力の開発に当って役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的ニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間に、よりよい信頼関係を推進する為の機会を提供する事です。